

# 文献センター通信

第 16 号  
2011 年 6 月 5 日  
一部 100 円

主な内容	
総会開催日決定.....	1
アナキズム一箱古本市.....	2
原発やめろデモ！報告.....	3
八街だより.....	4
会計報告.....	5
デジタル部会から.....	6
運営委員会議事録.....	7

アナキズム文献センター第2回総会を開催します。

員に諮ることになります。今回の総会ではさほどの決定事項はない

この総会は、当文献センターの運営を支えてくださっている会員、協力者の皆さんにこの間の活動の総合的な報告を行い、これからの活動方針を示すために開催されます。定例総会の開催については、「アナキズム文献センター規約」に最低3年に1回と規定されており(第九条)、前回が2008年12月に東京・新宿でしたので、今回の総会はおよそ2年半の間を置いたこととなります。

重要事項については議題を会

## アナキズム文献センター「第2回総会」開催日決定

と思われ、報告が中心になります。

2年半に関する報告と今後の計画案についての具体的内容は現在作成中のレジュメにてご確認ください(非会員の方には、実費でおわけします)。

合いが行われました。センターを維持するための団体の性格について

てどのようにするかが議題の中心になり、一時はNPO(特定非営利活動)法人の設立を目指すこととなり、東京近辺に在住する有志による定款作成作業が続けられました。その作業を進めるうちにNPO法人に存在する固有の財産(この場合は蔵書ですが)処分問題についての意見が表明されました。翌06年3月に京都で開催された会議とその後の意見交換でNPO法人設立にこだわることをやめる、他の可能性についても話し合いを続けることとしました。とりあえずは、実質的な活動を始めるために、支える人たちの集合となる任意団体としてアナキズム文献センターを設立することになりました。

した。  
同年7月、再度、富士宮にて話し合いを行い、その場にて「規約」が承認され「文献センター」が設立されました。1970年の活動開始から幾度かの休止期間を経ての再開です。

※ ※ ※  
実際には文献センター自体の性格付けに関する議論は東京でもそれほど進んでおりません。いや、してこなかったともいえます。東京での話し合いの中心は、文献の整理に関すること、カレンダーの制作、会員の増加についてのことなどです。今回の会議で、会員の皆さんの意見を



前回総会の様子  
<http://www.cira-japana.net/>

■第2回総会

日時 6月25日(土)

午後2時半開場

懇親会 午後5時半開始

会場近く

会場 エル・大阪

大阪市中央区北浜東3-14

総会 午後3時開始

活動報告、会計報告、

事業計画案、など

※事前のお申し込みをお願いいたします。Eメールまたは郵便でお申し込みください。Eメールアドレス及び郵送先は最終頁に掲載。

【レポート】

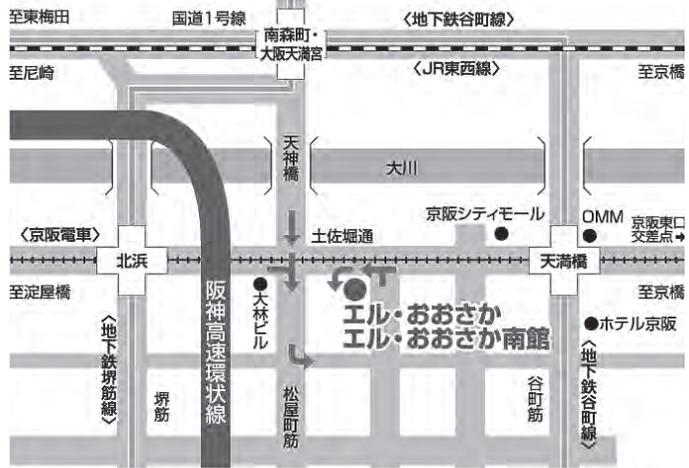
第2回 アナキズム一箱古本市

2月11日(祝)、東京は新宿のカフェ・ラバンディアで第2回アナキズム一箱古本市(イレギュラー・リズム・アサイラムほか有志共催)が開催されました。

昨年7月に第1回を開催したところ好評だったため、今回の第2回目の開催となりましたが、当日の東京はあいにくの雪が降るといいう天候。とはいえ、そのような天候のなかでも足を運んだお客さん

は、今回初参加の新宿・模索舎をはじめとする5つの「古書店」それぞれの「アナキズム」を楽しんでいたようでした。(特に模索舎の均一箱はかなり魅力的でした！)

また当日は、会場のカフェ・ラバンディアの方からの提案で急拠DVDも上映することになった。ふだんなかなか観ることのできない秩父鉄道のDVDやふくろうの生態の



- 「新大阪駅」からは…地下鉄御堂筋線(新大阪～淀屋橋)→京阪電鉄(淀屋橋～天満橋) 「大阪駅」からは…地下鉄谷町線(東梅田～天満橋) 「難波駅」からは…地下鉄千日前線(難波～谷町9丁目)→地下鉄谷町線(谷町9丁目～天満橋)
- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

DVD(どちらもマニアック?で面白かった!)、最後は貴重なスペイン革命の映画「LIBERTARIAS(リベルタリアス)」(1996年・

スペイン)までも観ることができ、本来の「古本市」という趣旨から多少ずれてしまったかもしれないが、この「ずれ」が楽しい一日

となりました。(もちろん、「古本市」がもっと盛り上がりたければ最高です！)

第3回は他のイベントと合わせての企画も計画されているようで、今回はこれまでとは違った形の「古本市」がみられるかもしれません。ぜひ期待したいと思います。

## 「4・10 高円寺」 原発やめるデモ！」報告

日替わりの店番制で運営される東京・高円寺のバーで、そこに集っていた人たちの間での会話から、今回の「原発やめるデモ！」の企画はスタートした。

反原発のデモをやるうと盛り上がった勢いをそのままに、デモの開催日を12日後の4月10日と具体的に決めると、バーにいる者たちがそれぞれ「Twitter」を使って一斉にデモ開催の情報を広めはじめた。次の日にはウェブサイトを用意し、「素人の乱」による呼びかけ文を掲載すると、インターネッ上でデモの情報をさらに拡散した。

ウェブサイトで賛同メッセージを募集してみると、メッセージの内容や、集まる速度や量から、今回は「いつも通り」のデモにはならない、ということとは想像できた。

言いたいことがあるのは、活動家や知識人だけではなかった。

4月10日は、主にアナキスト／反権威主義的な活動家による脱中心的なネットワークを通じて、世界同時行動も呼びかけていた。それに応じるかたちで、モントリオール、ニューヨーク、ベルリン、ゲッティンゲン、水原市（韓国）、国内では、鎌倉、札幌、富山などでも、反原発のデモや集会が同時に開催された。

高円寺でのデモは、最終的に1万5千人が参加した。デモのスタート地点となる高円寺中央公園は人であふれかえり、高円寺駅から公園まで、行列ができるほどだった。公園の中やまわりでは、「まるでタハリール広場のようだ」という声がよく聞かれた。

トラックに載せた大型サウンド・システムから流れるパンク、テクノ、ヒップホップ、レゲエなどの音楽にあわせてデモは進み、

沿道から続々と人びとがデモに加わって、あちこちから自然発生的に「原発反対！」のコールが湧いた。

組織的な動員がまったくなかったのにもかかわらず、これだけの人数が路上に出て「原発反対」意思表示をしたことは、新聞の一面、テレビのニュース速報になってもおかしくないくらい「事件」ではないかと思っただが、スポンサーに縛られるマスメディアはやはり、この事実をほとんど無視した（そもそもマスメディアはあてにしていないが）。

福島原発の事故による放射性物質の流出は、いまだにまったく収まる気配がない。日本国内だけの問題に留まらない甚大な被害をもたらしているのにもかかわらず、いまだに各地の原発は稼働し続けている。これからもこの地球上で生きていかざるを得ない我々は、「いまずぐ全ての原発を止め

ろ」と声を上げ続けなければならぬ。

「4・10 高円寺・原発やめるデモ！」ウェブサイト／

<http://410onoke.tumblr.com/>

## 5・7

### 原発やめるデモ！！！！

高円寺に続き、5月7日、東京・渋谷でもデモが行われた。あいにくの前中からの雨であったが、参加者は高円寺同様、1万5千人。警察の挑発的行為のため混乱が生じ、4名が逮捕され（2名はすぐに釈放）2名が拘束された儘となった。

2名の釈放を求めて有志による救援会が結成された。最後の一人が解放されたのは、5月27日であった。

(S)



## 八街だより

再び作業の進行状況を報告しましょう。

12月9日(木) 四谷・東村山・八街のルートで整理済みの資料その他を運ぶ。10・11日には富士宮にて、欧文パンフレットをダンボール3箱に取りまとめ、うち1箱を東京に送ってリスト作成に入る。

1月15・16日(土・日) 長谷川文庫の和書の整理に取りかかり、まず長谷川文庫目録と現物との照合を進めました。ダンボールから出して並べた本を目録と突き合わせ、ていきましたが、重複している本、現物の欠けているものも散見されます(その一部は既に富士宮センターに収蔵されていると思われます)。夕方には、東金の友人が余ってるから使えとフトンを届けくれたので、宿泊の用意も着々

と整ってきました。翌16日朝方は2時間ほど雪が降り、うっすらと積もった庭の景色はなかなかでした。

2月5日(土) 四谷・東村山・八街のルートで、整理済みの資料その他を運ぶ。この日は交通事情が悪く、荷物を降ろしただけのトンプ返りとなった。

2月26日(土) 四谷・東村山・八街のルートで、整理済みの資料その他を運び、帰りの便で、横倉さん寄贈の資料(ダンボール6箱)を整理のために持ち帰りしました。

3月18・20日(金・日) 当初12日(土)の予定が地震で延期となったものの、連休を利用しての長逗留が実現。地震の被害を心配していましたが幸い本棚と資料は全く無事で、がっしりと組み立て補強された本棚がさっそく威力を発揮しました。ただし、倉庫の天井板の一部が落下といった被害はあり

ました。

それと別に気がかりとなっていたのは春の土埃です。周囲は畑が多いので春先の風で土埃が吹きあれるのは避けられません。それがどの程度倉庫に侵入してくるのか気になるところです。保管資料には敵となる有難くもない、しかも毎年定期的にやってくる来訪者です。防護手段として考えたのはビニールシートで本棚をおおってしまふこと。そのための作業に半日費しました。その他、地震の影響によるガソリン不足にも悩まされ、スタンドの長蛇の列に並んだり、少しずつ買い揃えた台所用品で初めて自炊したりの日々でした。

帰京した足で20日・21日と富士宮に足を伸ばしました。富士宮で起きた地震が気になったことがありますが、こちらも被害はなく龍夫妻もいたって元気。センター内の掃除と資料整理を少々、欧文パン

フの残ったダンボール2箱を東京に運びました。

4月2日(土) 長谷川文庫の欧文資料の整理に着手。目録と現物との照合を進めましたが、傷んだ本も多く(1930年代の古いものもあり、それらはビニール袋に入れて傷みの進行を防止している)、また目録にあって現物のない本、本はあっても目録に記載されていないものも出てきました。欠けている本は目録作成時に貸出したものですが(返却を要請中)、不明のものもあります。

4月9・10日(土・日) 横浜で落ち会って龍さんを八街に案内しました。作業は長谷川文庫の欧文のつづきで、照合作業を終え、あとは目録に記載されていない分の入力、登録作業。作業空間は十二分に確保されましたが、時間が細切れなのです! まああまりぜいたくを言わずにコツコツいきましよう。

※ ※ ※

余談をひとつ。4月2日には友人に紹介してもらった植木屋さんが同行しました。広い庭に何を植えていくのかを考えてもらうつも

りでしたが、「まずは掃除ですネ」と言われてしまいました。長い間放置されていた土地なのでボサボサで荒れ放題とっていいでしょう。それでもまだ草が伸びていない分、すっきりはしているのですが。私の本心としては、本と取り組んでいるより、木の枝を払ったり、草取りをしたり、木を植えたりしたいのですが、いずれにしろ手が回りそうもないので、助っ人を頼むことにしたのです。(奥沢)

### アナキスト・クラブ 資料センターへ

前号でアナキスト・クラブ資料の目録づくりを進めていることを報告しましたが、目録が一段落し

たところで同資料のセンター寄贈を戸田三三冬さんに申し入れました。1月27日に山田、奥沢が戸田さんと会って、次の条件で承諾を得ました。

①クラブ資料として一括した扱いとし、別途、目録を作成する。

②クラブ資料として独立した収納とし、他と混在させない。

現在、同資料の目録が一応リスト化されていますが、改めて全資料を照合して完全を期す予定です。

#### 【訂正】

前号で小松さんから寄贈されたマイクロフィルムの報告をした中で、同フィルムの原本が資料中に欠けていると記しましたが、その後確認されました。訂正いたします

#### 【消息／短信】

●戸田三三冬さんは現在リハビリ

### アナキズム文献センター収支決算報告書

2008年11月1日～2009年12月31日

収入の部		
科目	金額	摘要
前年繰越金	858,513	
会費/カンパ	344,000	
物販	427,271	
合計	1,629,784	
支出の部		
センター維持費	150,000	富士宮の光熱費(龍さんへの送金分)
通信費	4,410	サーバなど
カレンダー制作関連	354,149	印刷費、送料ほか
イベント関連	35,000	交通費等
振込手数料	9,930	
その他出金	2,874	
次年度繰越金	1,073,421	
合計	1,629,784	

※その他「センター通信」の印刷費・郵送費等は未計上  
※2011年版カレンダーの印刷費は2011年扱い

上記の通り報告いたします。

2011年3月20日

会計係/古屋淳二

中で、1月にお会いした時は小一時間の打ち合わせでしたが、元氣に対応してくれました。少しずつ研究も進めておられるとのこと、傍らには原書の頁が開かれていました。長時間はまだ無理なのでしょうが、着々と体力をつけているものと思われま

●京都の三上さんから、戦前期のアナキズム団体「野蠻人社」および雑誌『野蠻人』についての問い合わせがありました。同誌はセンターに所蔵されておらず、詳細は不明です。情報をお持ちの方がいましたら編集部まで一報ください。

## ビジュアルデータも面白い!

## デジタル部会報告

アナキズム文献センター(以下、センター)は、文字通りの、アナキズムに関する文献だけでなく、写真、音声、動画など、ビジュアル的な物も集めています。

どのような文献がセンターに集まっているかは、センターホームページでの「文献データベース検索」である程度確認できますし、また、長谷川文庫、平井文庫、藤本文庫等の各寄贈書の目録も出版物、ホームページ、文献センター通信で公開されています。

一方、ビジュアル的なものがどれほど集まっているのかは、なかなかお知らせする機会がありませんでしたので、簡単に紹介いたします。

ビジュアルデータは、ビデオや映画などの「動画」、写真やネガ

などの「静止画」、講演会などの「サウンド」、「それ以外の物」として分類・収集しています。これらの物品は、現物として保管するだけでなく、可能な限り、デジタル化してファイルとして保存するようにもしています。また、多くの物は現物ではなく、デジタル化したファイルとして収集・保管しています。

現時点でリストアップ済みのデータは約百五十点ほどあり、そのうち、動画が約六十点(映画フィルム四点、ビデオテープ十七点、DVD三十三点、ミニDV九点)、静止画十三点(印画紙二点、ネガ二点、スキャン済みファイル九点)、サウンド約七十点(レコード二点、オープンリールテープ二十一点、カセットテープ三十二点、CD/DVD十八点、ファイル一点)があります。なお、静止画は対象物の名称を一点として数えているため、デジタル化した

ファイルの総数は数十倍になります。

以前、紹介した「横倉辰次所蔵フィルム」には、一九六三年九月十八日に開かれた「大杉栄記念講演会」の風景が少しだけ記録されています。この記念講演会には、大沢正道、井出文字、森長永三郎、坂本清馬、高見順、埴谷雄高、秋山清の各氏が登壇しています。このときの講演がセンター保管のオープンリールテープに録音されました。

また、現在、近藤文庫の目録作りの作業を行なっています。この作業の中でガラス乾板二枚が出てきました。専門業者に依頼してスキャンしてもらった所、見慣れた平民社の社屋と二階の編集室が写っていました。業者から受け取ったときは、気が付かなかった



のですが、どうも編集室の様子が違う……と、後から気付いて他の出版物の写真と比べた所、三カ所ほど明らかに違っていました。この「編集室」の写真を掲載しますので、皆さんもお手持ちの写真がございましたら調べてみてください。文献センターの作業には、このような楽しい発見もあります。

(伊)

## 運営委員会議事録（抄）

【1月運営委員会】2月4日（金）

■アナキストクラブ資料について

戸田三三冬さん所有のアナキストクラブの蔵書（岩佐、綿引、布留川各氏）が、他の資料と別に『クラブ』の資料』としてそのまま受け入れる条件で、文献センターに寄贈されることになった。なお、古い機関誌などは状態もよくないので、近日中にコピーをとる。

■新版の「大逆事件アルバム」

昨年版（大逆）カレンダーの冊子化の話と、あきらかにする会の山泉さんが「大逆事件アルバム」復刊を以前より考えていたことが合体して話が拡がり、単なる復刊ではなく、新たな形で、ばる出版から発刊する方向で検討することになった（時期、形式等は未定）。当センターは、これを機にこれままで保存している写真資料類を整理

していくことで協力したい。

■総会について

5月くらいに大阪で開催する。候補としては、21日あたりを軸に調整する（編注・諸般の事情により、6月開催と後に決まる）。

■来年版カレンダーについて

部会メンバーを会員から募集するなど、現在の少人数体制からそれなりの編集体制へ。近日中に編集会議を開催する。できれば、今年から2013年「大杉伊藤カレンダー」作成準備も動き始めたい。

■次号通信

3月末までに発行（編注：発行されず、今号に）。

【2月運営委員会】2月22日（火）

■総会について

活動報告と活動計画は奥沢が作成（次回会合まで）。会計報告は古屋。

当日は在庫があるTシャツ等も

配布したい（できれば新作を作成  
II大杉Tシャツ、シール、ポスト  
カードなども）。

■入会パンフレット作成

A4三つ折くらいの入会用のパンフレットを作成したい。

■Webの充実

なかなか更新されないWebをなんとかしよう、ということ。「今月の1枚」というような写真をアップする。過去のカレンダーに掲載したもので可。次回会合までに各自が1枚以上ピックアップすることとした。

■カレンダーデータのバックアップ

過去のカレンダーの印刷データのバックアップをきちんと確認・保存する。

【3月運営委員会】3月25日（金）

■総会と通信について

当初予定の日程が厳しいので6月も視野に入れて再設定。総会の日程が決まり次第、通信を発行。

■蔵書・既存データの活用

いろいろな資料が揃いつつある中で、これらを形にして、きちんと情報発信していかないといけない。Webやイベントなど積極的に形にしていきたい。

過去発行のカレンダーの画像を月1回くらいのペースでWebにアップ。秋山清旧蔵ポスターの活用。DVD、ビデオ、音声資料などの活用（上映会などの積極的開催へ）。個人が持っている資料も持ち寄る。テーマを決めて上映会をやるなど。

■古本イベント

アナキズム古本市の次回開催は5月を予定。あわせて、土曜社という新しい出版社の刊行物が大杉の『日本脱出記』（解説・大杉豊さん）ということなので、文献センター協力のもと、古本市と併せて、カフェ・ラバンデリアで出版社代表と大杉豊さんのトークショーを共に行うという方向で企

画を進める。

■作業日の確認

5月4日に、主として定期刊行物（アナキストクラブ所有の組合機関紙などを中心に）の資料整理を行う。

【4月運営委員会】 4月22日（金）

■目録について

所蔵文献目録第5集（平井文庫、佐藤／藤本文庫、雑誌「ANARCH」総目次、著者索引）を5月20日付で発行する（300部）。会員へは無償配布するほか、IRA、模索舎では頒価千円で販売。

アナキストクラブの目録は来年

くらいをメドにまとめる予定。

■大阪総会について

議事内容は一度整理して次回会議で内容確認。プロジェクターはなしで進行する。

■セミナーについて

提案のあったセミナーに関しては、センターとしても取り組んでいきたい。DVD等の資料を活用してのテーマ別のイベントも合わせるなどして企画する。

■古本イベントについて

古本市、『大杉栄／日本脱出記』発売記念イベント（トーク大杉豊さんほか）の開始時間を決定。

【贈呈】

お土産にいただいたスペイン語の本が2冊あります。私には読めないのですが、関心がありましたら使ってください。（真辺さん）——とのことで、以下の2冊を預かりました。申し出は編集部までご連絡ください。

① Felipe Alaiz  
Estudio y antologia por Francisco Carrasquer del primer escritor anarquista espanol  
---Cronica General de Espana / Ediciones Jucar

② Jose Luis / Gutierrez Molin  
La Anarquia segun Andalucia  
---Las Siete Entidades

### 3月11日の大地震・津波、原発事故、その後の富士宮地震への海外からのメッセージ

Salud!

私たちはドイツのアナルコ・サンディカリスト労働組合のFAUです。

日本で起こった巨大な地震と津波、それに続く人災である原発事故により多重の困難に直面している日本の仲間のために、私たちFAUは『プレカリアート／フリーター支援・団結基金』を設立しました。現在ドイツ中の同志から寄付を募っている段階で、ある程度ま

とまっ た段階から活用していく予定です。

※ ※ ※

私たちはCIRA アナルコ文献センターのある富士宮も地震の被害を受けたと聞きました。CIRAの状況はどうなっていますか？そしてなにか足りないものや支援を必要としているものはありますか？いつでもメールで知らせてください。希望を捨てないでください。世界中の仲間が共に闘い助け合っています！

ルドルフ・ミューランド (Rudolf Muhland)

※ ※ ※

From: Cira  
greetings  
To: Cira Japan <info@cira-japan.net>

Our solidarity and fraternal greetings  
in this difficult moment  
Marianne and friends

CIRA

<http://www.cira.ch>

<http://www.cira-japan.net/>

定価／一部100円	info@cira-japan.net	00850-3-30010	1-30-12-302	発行所／アナキズム文献センター 編集／運営委員会 連絡先／東京都新宿区新宿	発行／2011年6月5日 第16号	アナキズム文献センター通信
		00850-3-30010				
		00850-3-30010				
		00850-3-30010				
		00850-3-30010				